

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2019-上期-

JA佐渡の経営内容



片野尾の棚田風景

プロフィール

設立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出資金	24.7億円
総資産	1,207億円
組合員数	15,579人 (正組合員 7,692人・准組合員 7,887人)
職員数	442人
店舗数	本店、支店 9店

(令和元年8月31日現在)

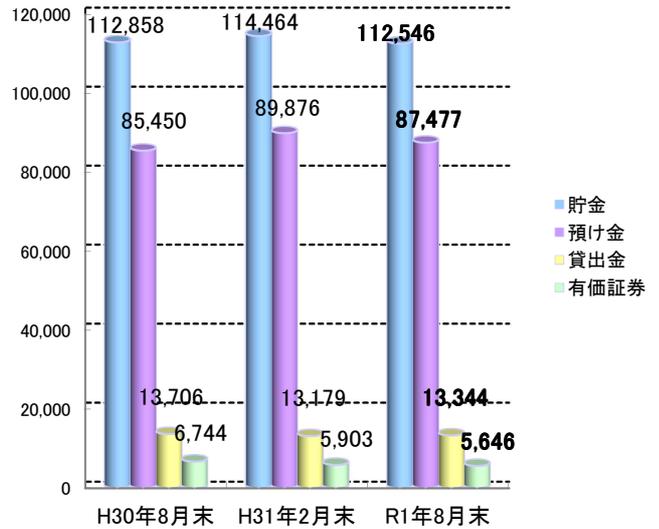
令和元年8月末 JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

主要勘定の状況

(単位:百万円)

	H30年8月末	H31年2月末	R1年8月末
貯金	112,858	114,464	112,546
預け金	85,450	89,876	87,477
貸出金	13,706	13,179	13,344
有価証券	6,744	5,903	5,646

- 県下統一定期貯金キャンペーンの定期貯金「年金給振プラス・ほほ笑味」は、新規資金獲得対策としての効果があり、個人貯金増加の結果に結びつきました。
- 貸出金は、住宅ローン・リフォームローンの住宅関連資金の新規申込件数・金額とも昨年比で減少したため全体の実行計画が未達となりました。
- 有価証券は、社債を中心に債券を購入し、有価証券残高は昨年比で20.6億円増加し、有価証券利益は計画比で115.9%と大きく上回りました。

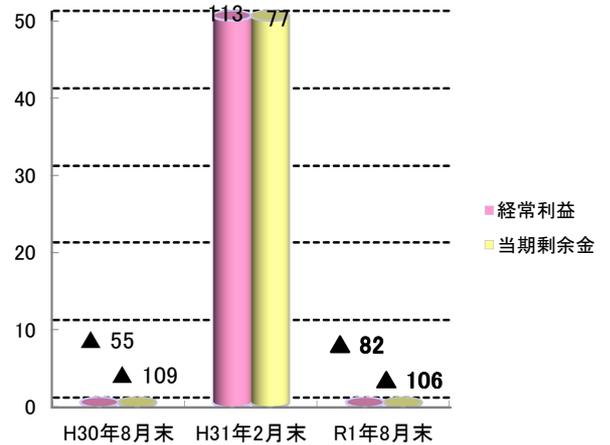


経営収支の状況

(単位:百万円)

	H30年8月末	H31年2月末	R1年8月末
経常収益	4,259	8,758	3,895
経常費用	4,315	8,644	3,977
経常利益	▲55	113	▲82
当期剰余金	▲109	77	▲106
未処分剰余金	—	78	—

- 平成30年度の事業総利益は前年を265百万円上回る2,781百万円となりました。事業管理費は前年を11百万円下回り、結果として47百万円の事業利益となりました。
- 最終損益は、77百万円の当期剰余金となりました。

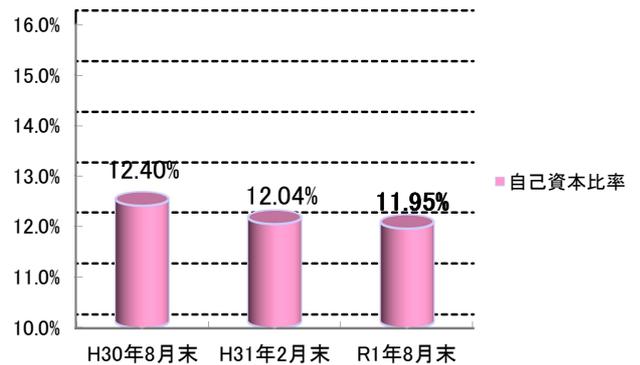


単体自己資本比率(推計値)

(単位:百万円、%)

	H30年8月末 (推計値)	H31年2月末	R1年8月末 (推計値)
自己資本額(A)	5,468	5,558	5,478
リスク・アセット(B)	44,071	46,152	45,825
自己資本比率 (A)÷(B)×100	12.40%程度	12.04%	11.95%程度

- リスク・アセット減少の主な要因は、系統預金の一時的な減少によるものです。



8月末の単体自己資本比率(推計値)は平成31年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、8月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万-の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウエイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

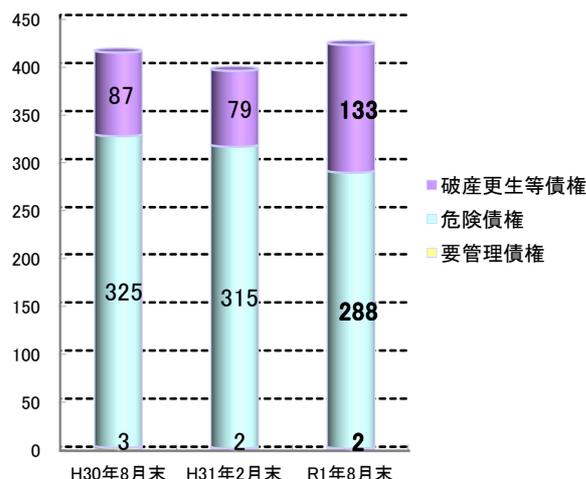
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

不良債権の状況

金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	H30年8月末	H31年2月末	R1年8月末
破産更生等債権①	87	79	133
危険債権②	325	315	288
要管理債権③	3	2	2
小計(①+②+③=A)	415	397	424
正常債権④	13,547	12,939	13,135
債権額合計(A+④=B)	13,962	13,336	13,560
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	2.97%	2.97%	3.12%



開示債権と保全の状況(令和元年8月末)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況					金融再生法開示債権 (経済債権を含む)		リスク管理債権	
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高
破綻先	6	97	57	100.0%	破産更生等債権	133	破綻先債権	5
実質破綻先	148						延滞債権	415
破綻懸念先	310	129	181	100.0%	危険債権	288	3か月以上延滞債権	-
要注意先	要管理先	-	0	0.3%	要管理債権	2	貸出条件緩和債権	2
	その他要注意先	504					合計	423
正常先	14,555				正常債権	13,135		
合計	15,527				合計	13,560		

リスク管理債権について

- 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金です。
- 「3か月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3か月以上延滞している貸出金です。
- 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3か月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	H30年8月末			R1年8月末		
	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時 価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	-	-	-
その他	6,488	6,604	116	5,355	5,506	151
合計	6,488	6,604	116	5,355	5,506	151

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・暮らしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

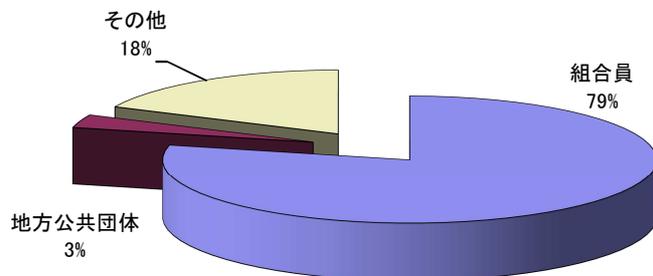
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様の暮らしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	89,405
地 方 公 共 団 体	2,877
そ の 他	20,264
合 計	112,546

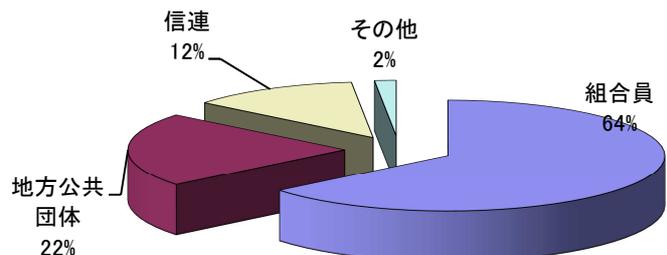


地域への資金供給状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,555
地 方 公 共 団 体	2,894
信 連	1,680
そ の 他	214
合 計	13,344



※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC（営農経済渉外活動）等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟およびJA佐渡独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

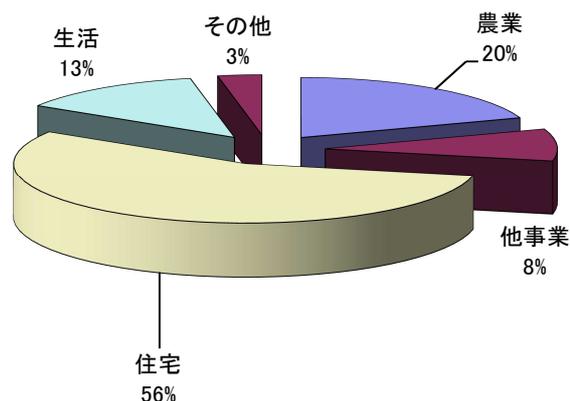
貸出金の資金使途別等の残高

〔貸出金〕

（単位：百万円）

種 類	H30年8月末	R1年8月末
農業資金	1,586	1,723
その他事業資金	866	754
住宅関連資金	4,624	4,876
生活関連資金	1,155	1,145
その他	278	268
合 計	8,511	8,769

地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。



自己改革の取り組み

国の「農協改革」の動きに対して、JAグループ独自に「自己改革」を設定し組織を挙げて取り組むことを決定し、当JAも第9次中期3カ年計画（2019年度～2021年度）に独自の自己改革を織り込み、「自己改革工程表」【第2期】を作成して実践と進捗管理に取り組んでいます。今年度上期の状況について関連する主な取り組みを中心に次の通り報告します。

◆農業振興等に関する取り組み

「佐渡米未来プロジェクト 品質向上90」の取り組みでは、「農家同士が意見交換・情報交換できる場」とするため、サポーター自ら生育調査を実践し、基本技術の必要性を農家へ伝える仕組みづくりに取り組みました。また、今後の佐渡農業を支える担い手・農業法人で働きやすい農業環境づくりをすすめるため、「JA佐渡ASIAGAP研究会」を設立し、新潟県内JAでは初のASIAGAP^(注1)団体認証を受けました。なお、(財)日本穀物検定協会の食味ランキングで、30年産米が14年連続26回目の最高ランク「特A」の評価を得ており、高品質・良食味米（“おいしさ”と“みばえ”）生産に加え、量的にも安定した産地づくりに向けた取り組みを継続していきます。

園芸については、アスパラガス倶楽部を設立し、定期的な指導研修会を実施し倶楽部員相互の技術向上に取り組みました。また、WCS（稲発酵粗飼料）刈取後の後作としてキャベツ栽培に取り組み、2ha作付しました。

畜産振興については、WCS（稲発酵粗飼料）の作付を64haで行い、コントラクター組織^(注2)と収穫手法等について確認しながら品質向上・収量確保に取り組みました。和牛は、CBS^(注3)からの上場牛を含め、上場頭数確保に取り組みました。また、子牛の管理指導会を実施したことにより発育標準以上の子牛が上場できました。

◆生産コスト低減等の取り組み

生産コスト低減を目指し、フレコン入り肥料や除草剤・殺虫剤の大型規格を予約注文書で紹介しました。また、佐

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

渡米品質向上の一環として佐渡米の品質向上プロジェクトでの水稻指導会等において、ケイ酸質肥料施肥や高温期の後期栄養不足解消のため穂肥施用の指導を実施しました。

◆農業融資と地域貢献に関する取り組み

出向く融資活動として農業法人等への定期訪問を実施し、JAグループと当JAの利子補給を利用した「担い手支援資金」等の提案活動を行いました。「にいがた農業応援ファンド」における上期の推進の結果、JAの取り扱いについては約4,500千円の実績となりました。

今後も農業メインバンクとしての信用事業機能強化のため、TAC、農機担当者、生産資材担当者等他部門と連携した取り組みにより総合力を発揮した提案を行います。また、農業メイン先を選定し、年間訪問計画を作成し、計画的な訪問活動に取り組みます。

注1.【AS IAGAP】：生産者団体が活用する農場管理の基準。食の安全や環境保全に関する多くの基準が定められている。
 注2.【コントラクター組織】：農畜産物の収穫や耕起等の農作業を請け負う組織。
 注3.【CBS】：平成29～30年度に新徳潟上地区に設置した大型和牛繁殖支援施設。

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っております。

- ◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っております。
- ◇農産物直売所 : JA直営直売所「新鮮空間 ^やらんか舎^{せい}」と「菜^{せい}きて屋^{まの}」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。
- ◇セレモニーホール : 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬など幅広いニーズへの対応を行っております。
- ◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。



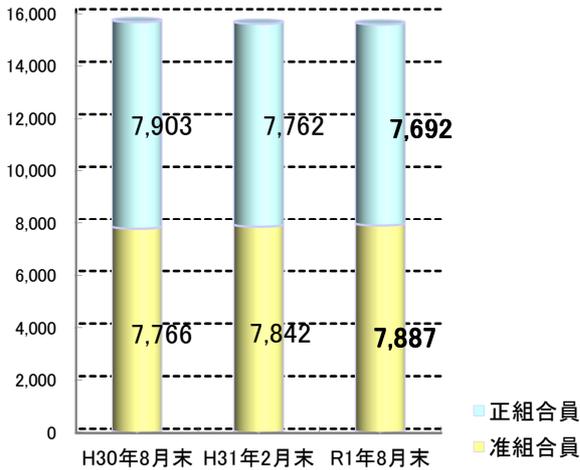
写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

組合員数の推移

(単位：組合員数)

	H30年8月末	H31年2月末	R1年8月末
正組合員	7,903	7,762	7,692
准組合員	7,766	7,842	7,887
組合員計	15,669	15,604	15,579



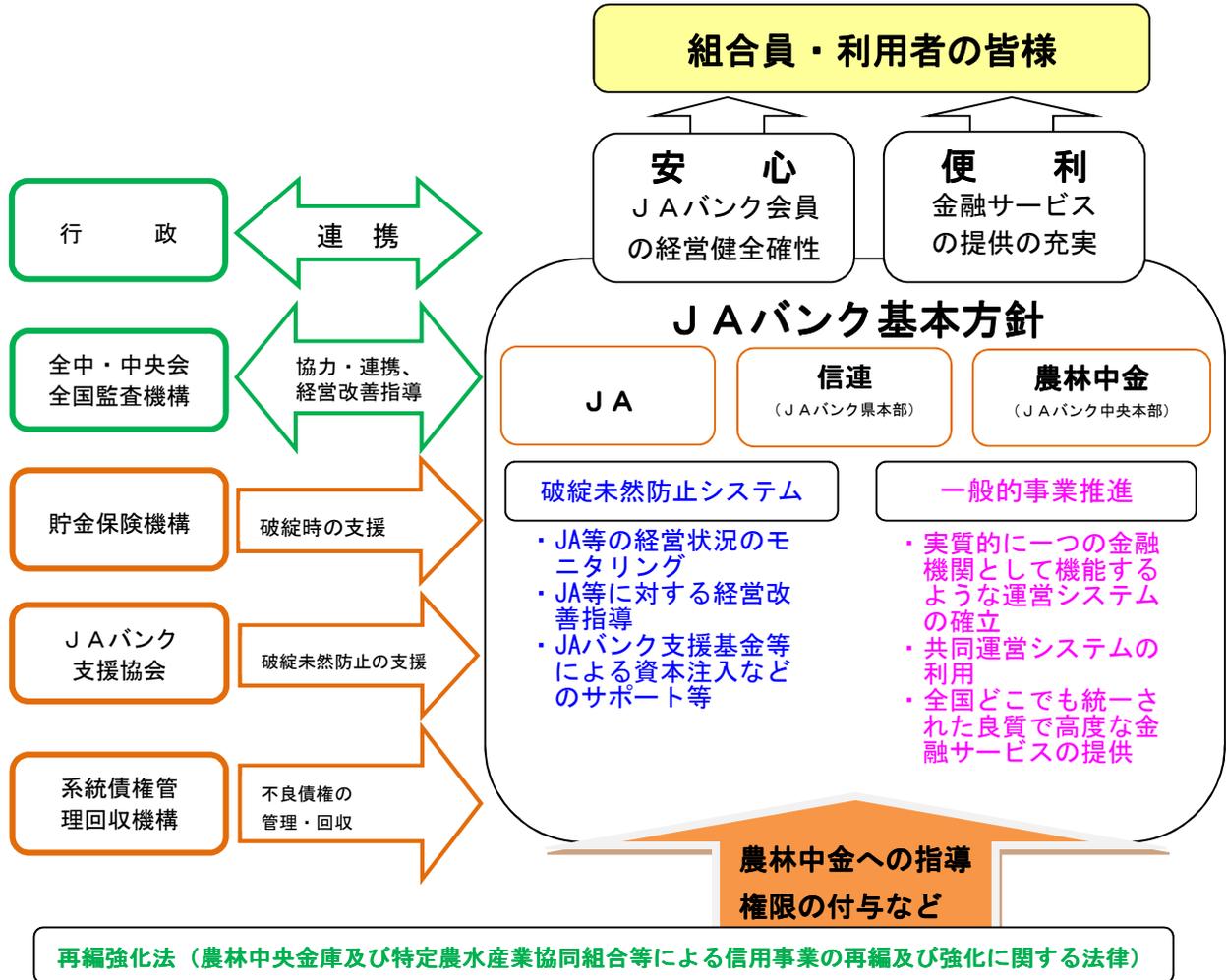
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。